

< あなたの治療について >













消・外-Cmab/FIRI-大腸-q2w

今回の治療は、Cmab/FIRI という治療法で、アービタックス (C225)、レボホリナート (ILV)、イリノテカン (CPT-11) と 5FU という 4種類注射薬を併用して行います。アービタックス、イリノテカン、5FU は共に腫瘍の増殖を抑えるお薬で、レボホリナートは5FU の効果を増強させるお薬です。4つの薬を組み合わせることで、より効果を高めることができます。

治療全体の流れ

今回の化学療法は2週間が1コースとなっています。各コースの1、8日目に点滴を行います。この治療を2週間(14日間)ごとに繰り返します。副作用が強く出たり、体調がすぐれない場合は回復するまで、治療を延期したり、お薬の量を減らしたりすることがあります。

1コース分の治療スケジュール

順序	薬剤商品名 (薬の作用)	投与	1日目	2~7日目	8日目	9~14日目		
	レスタミン (アレルギーを抑える薬)	内服		お休み		お休み		
	グラニセトロン (吐き気止め) デキサート (アレルギー-予防・吐き気止め)	点滴 約15分			お休み			
	デキサート (アレルギー-予防・吐き気止め)	点滴 約15分	お休み					
	アービタックス (抗がん剤) 初回 400mg/m ² 2回目以降 250mg/m ²	点滴 初回 約2時間 2回目から 約1時間						
	生理食塩液 (電解質)	点滴 初回 約1時間 2回目から 約15分			お休み			お休み
	イリノテカン (抗がん剤) 150mg/m ²	点滴 約2時間			お休み			
	レボホリナート (抗がん剤) 200mg/m ²	点滴 (イリノテカンと同 時に) 約2時間					お休み	
	5-FU (抗がん剤) 400mg/m ²	点滴 約1分(全開で)						
	5-FU (抗がん剤) 2400mg/m ²	点滴 約46時間						

点滴中や点滴後に、注射部位が痛い、赤くなってはれる、水ぶくれができる、ただれるなどの症状

に気づいたときは、すぐに申し出てください。また点滴中は、体を動かすことにより針がずれ、点滴漏れが生ずることがありますので気をつけて下さい。

起こりやすい副作用について（頻度 20%以上）

アービタックス・レボホリナート・イリノテカン・5-FUについて

白血球減少、ヘモグロビン減少・貧血、血小板減少、リンパ球減少 低マグネシウム血症
食欲不振、悪心、嘔吐 下痢、腹痛 口内炎 疲労 ざ瘡、発疹、皮膚乾燥、そう痒症
爪囲炎

* ざ瘡、発疹、皮膚乾燥、そう痒症 爪囲炎などの皮膚障害については、別添の資料を参照して下さい。

特徴的な副作用について

アービタックスにおける

infusion reaction

「気管支痙攣、蕁麻疹、低血圧、意識消失、ショック」などの症状

* 異常を感じた時はすぐに知らせてください。また、症状の予防として、本剤投与前に抗ヒスタミン剤の服用とステロイドの注射を行います。

イリノテカンにおける

過敏症状

呼吸困難、血圧低下等

下痢

* 排便回数の増加、水様便又は腹痛を伴うような場合は、医師・看護師・薬剤師にご相談下さい。

腸管穿孔、消化管出血、腸閉塞、腸炎

激しい下痢、腹痛、下血、頑固な便秘など

間質性肺炎

「息切れがする、息苦しくなる；から咳が出る、発熱」などの症状

5FU における

激しい下痢

重篤な腸炎

「水の様な下痢；2~3日続く下痢；腹痛；トマトジュース様の下痢」などの症状

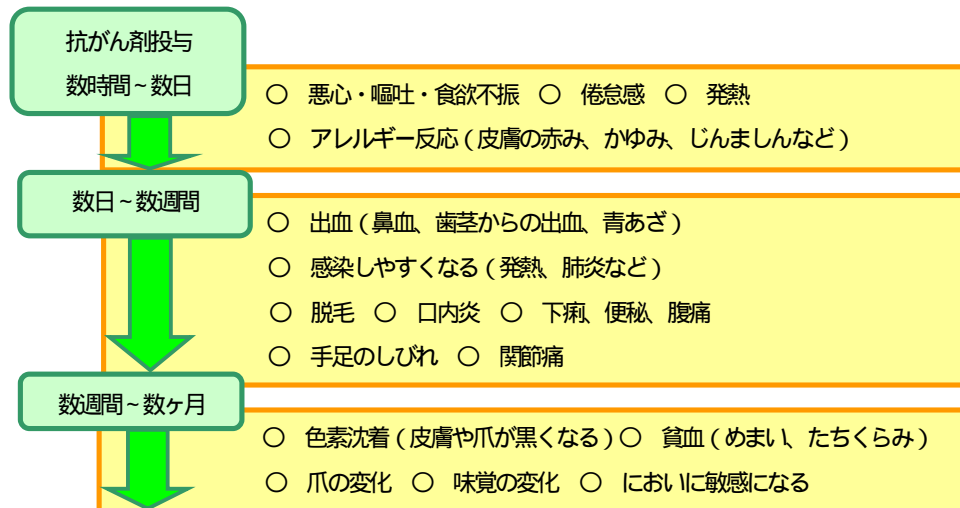
* 上記症状が現れたときは、必ず医師・看護師・薬剤師にご相談下さい。

副作用の発現時期の目安

*この図は、今回用いられている抗癌剤による副作用だけでなく、他の抗癌剤によって起こる副作用も含まれています。

これらの副作用がすべてあらわれるわけではありません。

また、発現する時期や程度も抗がん剤の種類や患者さんの体質により個人差があります。



数ヶ月～

○ 腎障害(きわめてまれ)

副作用の対策について

吐き気・嘔吐，下痢と便秘，口内炎，感染症，出血，貧血，脱毛などの副作用の対策について知りたい方は、資料をお渡しすることができますのでお申し出下さい。

**薬品毎の副作用について（添付文書における重大な副作用を製薬会社作成「薬のしおり」などから抜粋）
まれな副作用ですが、この様な症状が現れた際には医師・薬剤師・看護師へご相談下さい。**

【アービタックス】

- <アナフィラキシー様症状>急に呼吸が困難になる、蕁麻疹、血圧低下
- <皮膚症状>ざ瘡様(にきび様)皮疹、皮膚の乾燥及び亀裂（炎症性及び感染性の症状が続く）
- <間質性肺炎患>咳が続く、息苦しい、発熱、から咳がでる

【イリノテカン】

- <骨髄機能抑制> いつもより体がだるく熱っぽい、皮下出血がある。
- <重症感染症（敗血症、肺炎等）> 寒気がする。ふるえを伴う急激な高熱がでる。脈拍数が増加する。筋肉痛がある。関節が痛い。血圧が下がる。咳や痰が出る。息切れがする。
- <DIC（播種性血管内凝固症候群）> 階段や坂を上る時に心臓がドキドキする。息切れがする。身体がだるくなる。鼻血、歯ぐきの出血、皮下出血など、出血しやすくなる。
- <感染症> 寒気がする。熱がある。だるい。
- <下痢・腸炎> 泥状または水様の便が続く。突然、下痢になったり、吐き気、おなかが痛くなる。また、長期的に下痢や便秘異常が続いたり、便に粘液が混ざることがある。
- <腸管麻痺・腸閉塞> おなかが張って痛み、吐き気がする。便が出なくなったり、おならが止まる。
- <消化管出血> 暗赤色・鮮血色の血液が便の表面に付着する。イチゴゼリー状の便、黒色便、タール便がでる。
- <腸管穿孔> 激しい腹痛が始まり痛みが持続する。
- <過敏症> 発しんやかゆみなどがでる。熱感があって、だるい、気分が悪い。
- <ショック> 下痢や吐いた後、顔が青ざめる。冷汗がでる。立ちくらみやめまいがする。息切れがする。意識がなくなる。
- <アナフィラキシー様症状> 口の中に違和感を感じる。唇がしびれる。息苦しくなる。蕁麻疹（じんましん）やかゆみなどがでる。眼や唇のまわりが腫れる。意識障害がある。心臓がドキドキする。息切れがする。身体がだるくなる。頬などが赤らむ。
- <肝機能障害> 身体がだるくなり、吐き気がする。尿の色が濃くなる。白目や皮膚が黄色くなる。
- <急性腎不全> 尿量が少ない、食欲がでない、身体がだるい、むくむ。
- <間質性肺炎・肺線維症> から咳がでる。息苦しい、息切れがする。
- <肺塞栓症> 突然、息が苦しくなり、胸骨（胸の中央の骨）の下に不快感を覚える。脈が速くなる。
- <静脈血栓症> 下半身で血液がうっ滞をおこしたところが腫れたり、口唇や頬が青紫色になる。歩行により痛みが増す。
- <心筋梗塞> 突然、胸が締めつけられたり、焼けるような痛みが強く、長く続く。
- <狭心症発作> 急に胸が締めつけられたり、押さえつけられたり、詰まったような痛みがおこる。胸だけでなく、みぞおち付近や左腕、肩まで痛みがひびくことがある。
- <心室性期外収縮> 瞬間的に心臓がドキッとしたり、脈が抜けたような感じや息が詰まる感じがする。

【レボホリナート】

- <下痢> 激しい下痢、脱水症状
- <腸炎> 出血性腸炎、虚血性腸炎、壊死性腸炎、激しい腹痛、下痢

<白血球減少>発熱、寒く感じる・ふるえ、喉の痛み

<貧血>疲れやすい、めまい、頭がふらふらする、皮膚や顔が青白い

<血小板減少>原因不明のあざ、歯茎からの出血、鼻血、月経量の増加、血がとまりにくい

<ショック、アナフィラキシー様症状>発疹、蕁麻疹、頻脈、せいでいする

<白質脳症、精神・神経障害>歩行時のふらつき、四肢末端のしびれ感、舌のもつれ

<心不全、心筋梗塞、狭心症>手や足首のむくみ、息切れ、動悸、胸の痛み

<肝機能障害、黄疸>AST、ALT、AL-P、 γ -GTP 上昇、黄疸

<急性腎不全>頭痛、尿量の減少、手や足首のむくみ、わき腹の痛み

<間質性肺炎>発熱、空咳、息切れ、呼吸困難

<消化管潰瘍>消化管潰瘍

<口内炎>重篤な口内炎

<手足症候群>手掌、足の紅斑、疼痛性発赤腫脹、知覚過敏

<播種性血管内凝固症候群(DIC)>循環不全による腎機能低下、呼吸不全など、凝固因子・血小板減少や線溶活性化による出血症状(粘膜出血、止血不良、脳出血など)

<嗅覚障害>においがわからない・しない

<高アンモニア血症>眠気、呼びかけに対する反応が悪い、けいれん

<急性膵炎>上腹部の痛み、吐き気、嘔吐

【5-FU】

<脱水症状(激しい下痢)>発熱、激しい腹痛、下痢、水様便、血便

<腸炎>発熱、激しい腹痛、下痢、水様便、血便

<白血球減少>発熱、寒く感じる、ふるえ、喉の痛み

<貧血>疲れやすい、めまい、頭がふらふらする、皮膚や顔が青白い

<血小板減少>原因不明のあざ、歯茎からの出血、鼻血、月経量の増加、血がとまりにくい

<ショック、アナフィラキシー様症状>発疹、蕁麻疹、頻脈、せいでいする

<白質脳症>歩行時のふらつき、手足のしびれ、舌のもつれ

<うつ血性心不全、心筋梗塞、安静狭心症>手や足首のむくみ、息切れ、動悸、胸の痛み

<急性腎不全>尿量の変化、手や足首のむくみ

<間質性肺炎>発熱、空咳、息切れ、呼吸困難

<肝機能障害、黄疸、肝不全>倦怠感、食欲不振、右側腹部痛、眠け、皮膚が黄色くなる、白目が黄色味を帯びる

<消化管潰瘍>胸やけ、消化不良、腹部のさしこみ痛、タール状の便

<激しい口内炎>口内のただれ・痛み・出血

<急性膵炎>吐き気、嘔吐、背部痛、上腹部の激痛

<意識障害を伴う高アンモニア血症>眠気、呼びかけに対する反応が悪い、けいれん

<手足症候群>手のひらや足の裏の腫れ・痛み、皮がむける

<味覚障害・脱失>においがわからない・しない

上記のほかにも副作用が現れることがあります。

他にもからだの異常を感じたら、主治医や薬剤師、看護師に相談してください。

